

## 第3回 停止時P S A分科会 議事録

1. 日時 2007年11月5日（月） 13:30～17:00

2. 場所 日本原子力技術協会 A, B会議室

3. 出席者（敬称略）

（出席委員） 福田（主査, JNES）, 村松（副主査, JAEA）, 今井（幹事, 東電）, 伊東（JNES）, 植田（電中研）, 織田（日立）, 桐本（原技協）, 倉本（NEL）, 栗坂（JAEA）, 坂田（黒岩委員代理, MHI）, 幸田（京大）, 田中（多田委員代理, 東北電）, 成宮（関電）, 橋本（東芝）, 松岡（宇都宮大）, 門谷（原電）, 米山（TEPSYS）, 三浦（JNES）, 三浦（須之内委員代理, 保安院）（19名）

（欠席委員） 御器谷（保安院）, 高野（慶応大）（2名）

（常時参加者） 高木（原技協）, 小谷（NEL）, 倉沢（CTI）, 友澤（四電）（4名）

4. 配付資料

P1Ph2SC3-1 第2回停止時P S A分科会議事録（案）

P1Ph2SC3-2 実施基準（案）へのコメントおよび対応方針（案）

P1Ph2SC3-3 停止時P S A実施基準の改訂案作成における基本的な考え方

P1Ph2SC3-4 P S A品質ガイドラインにおける要求事項との対比

P1Ph2SC3-5 「リスク・モニター：原子力発電プラントでのその開発および使用における最新技術」停止時P S A基準での参考記述

P1Ph2SC3-6 国内BWRの停止中の制御棒引き抜け事象

P1Ph2SC3-7 停止時P S Aと出力運転時P S Aのリスクの比較について

P1Ph2SC3-8 低出力時評価と移行リスク評価の扱いについて

P1Ph2SC3-9 米国の停止時安全管理、保守作業に先立つリスク評価の実態

P1Ph2SC3-10-1 停止時P S A標準改訂方針整理表（第4章）

P1Ph2SC3-10-2 停止時P S A標準改訂方針整理表（第5章）

P1Ph2SC3-10-3 停止時P S A標準改訂方針整理表（第6章）

P1Ph2SC3-10-4 停止時P S A標準改訂方針整理表（第7章）

P1Ph2SC3-10-5 停止時P S A標準改訂方針整理表（第8章）

P1Ph2SC3-10-6 停止時P S A標準改訂方針整理表（第9章）

P1Ph2SC3-10-7 停止時P S A標準改訂方針整理表（第10章）

P1Ph2SC3-10-8 停止時P S A標準改訂方針整理表（第11章）

P1Ph2SC3-10-9 停止時P S A標準改訂方針整理表（第12章）

P1Ph2SC3-10-10 停止時P S A標準改訂方針整理表（第13章）

## 5. 議事

### （1）出席者確認

今井幹事により、全委員数21名のうち17名出席であり、本分科会の定足数を満たすことが確認された。

### （2）資料確認

今井幹事により、議事次第に基づき配付資料の確認が行われた。

### （3）前回議事録確認

今井幹事より、P1Ph2SC3-1により第2回停止時PSA分科会の議事録の説明が行われ、議事録として承認された。

#### 1. 実施基準（案）へのコメントおよび対応方針（案）

今井幹事より、P1Ph2SC3-2により実施基準（案）へのコメントおよび対応方針の説明が行われた。

#### 1. 停止時P S A実施基準の改訂案作成における基本的考え方

今井幹事より、P1Ph2SC3-3により改訂案作成における基本的考え方の説明が行われた。

・適用範囲および再構成の章立てなどについて、分科会としてこの形で11/16予定の発電炉専門部会に提案することにつき合意を得た。

#### 1. P S A品質ガイドラインにおける要求事項との対比

今井幹事より、P1Ph2SC3-4により、P S A品質ガイドラインの要求事項に対応する記載内容について説明が行われた。

（7）「リスク・モニター：原子力発電プラントでのその開発および使用における最新技術」停止時P S A基準での参考記述

桐本委員より、P1Ph2SC3-5により「リスク・モニター：原子力発電プラントでのその開発および使用における最新技術」の概要説明が行われた。

### （8）国内BWRの停止中の制御棒引き抜け事象

桐本委員より、P1Ph2SC3-6によりN U C I A入力された停止中の起因事象に関する説明が行われた。

### （9）停止時P S Aと出力運転時P S Aのリスクの比較について

米山委員より、P1Ph2SC3-7により、停止時P S Aと出力運転時P S Aのリスクの比較について説明が行われた。

### （10）低出力時評価と移行リスク評価の扱いについて

倉本委員より、P1Ph2SC3-8により、低出力時評価と移行リスク評価の扱いについて説明が行われた。

(11) 米国の停止時安全管理、保守作業に先立つリスク評価の実態

坂田氏（黒岩委員代理）より、P1Ph2SC3-9により、米国での停止時安全管理、保守作業に先立つリスク評価の実態について説明が行われた。

(12) その他

・本分科会の議論において、次回の出力運転時P S A標準の改訂への申し送りになるようなものについては、標準委員会へ申し送ることも検討する。

P1Ph2SC3-10の各章の改訂方針整理表を中心に次回の分科会で議論することとし、11月28日（水）午後を開催することとした。

以上